



9月のほけんだより

令和元年9月 虹のこころ保育園



夏をたっぷり楽しんだ子どもたちは、健康的に日焼けして元気いっぱいです。9月は真夏並みの暑い日があるかと思うと、朝夕急に冷え込む日もあったり、月の上旬と下旬、また一日のうちでも気温差の大きい月です。また、少しずつ夏の疲れが出てくる頃です。全身のだるさや食欲不振、便秘や下痢、発熱といった体調の乱れが現れてきます。乳児は特に機嫌の良し悪しなどに注意し、十分な休息、栄養に配慮し、生活リズムと体調を整えてあげましょう。



<9月の保健行事>

- 頭髪検査 2日、17日
- 身体測定 12日(ひまわり・ゆり・ちゅうりっぷ組)
19日(すみれ・あじさい・よつば組)

※運動会に向けた練習の為、日程を変更して身体測定を実施します。



防災週間(8月30日~9月5日)



9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備えて、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。また、お子さんにも家事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

子どもは思わぬ行動をします。危ない物はないか部屋の中を子どもの目線で点検し救急時の対応を確認しましょう。乳幼児の事故による死亡要因をみると0歳児では不慮の窒息が過半数を占めるのに対し、1~4歳児では交通事故や溺水などの割合も増えており、要因が多様化しています。

<やけど>出来るだけ早く冷やすことが大切です。氷は冷たすぎて短い時間しか冷やしてられないので、水道水で10分以上冷やしましょう。

<誤飲> たばこや薬、洗剤などを手の届くところに置かない!!
電池や灯油・除光液など吐かせてはいけないものもあります。
※日本中毒情報センター等を参考にしましょう。

<転落> ベランダや窓のそばに踏み台になるものを置かない!!
ベッドやプランターなども危険です。トイレや洗濯機、風呂などをのぞき込んで転落し溺死した事故もあります。

<窒息> 小さいものに注意!!

玩具の部品、舐めていて破れたビニールやシールで窒息した事故もあります。餅、パン、ご飯、飴、豆やブドウ、ミニトマトなども注意が必要です。咳き込む・息が出来ない時は頭を下にし背中を強く叩き、吐きだせない時は救急車を呼びましょう。

のどに物が詰まったときの対応：誤嚥

のどに詰まったものが取り除けないときは、背中を叩いたり胸を圧迫するなどしてとにかく吐き出させます。

①反応ある乳児に対して、背中を強く叩く方法(背部叩打法)

- ・乳児をうつぶせにしその下側に腕を通す。
- ・指で乳児の下顎を支えて軽く突き出し、上半身がやや低くなるような姿勢にする。
- ・手の付け根で両側の肩甲骨の間を4~5回叩く。



幼児の場合は、お腹を抱えて下になるよう持ち上げ、背中を平手でたたきます。



乳児の場合は、股の間から手を入れて胸の当たりを支え、頭を下にして背中を叩きます。

②反応ある乳児に対して、胸骨を圧迫する方法(胸部突き上げ法)

- ・背部叩打法で除去できなければ、仰向けにし、胸骨圧迫の要領で4~5回圧迫する。

病気や怪我で受診を迷う時、救命処置などは日本小児科学会のHP「子どもの救急」等を参考にしたり、子ども医療電話相談事業「#8000」へ相談してみましょう。保護者の方が休日、夜間の子どもの症状にどのように対処したら良いか、受診した方が良いかなどの対応に迷った時に、小児科医師・看護師に電話相談できるものです。この事業は、全国同一の短縮番号をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の相談窓口に自動転送され、小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。



~ご協力ありがとうございました~

保険証・乳児医療費受給券の写しの提出、気管支喘息についての調査のご協力をして頂き、ありがとうございました。

~お願い~

歯科健診で受診が必要なお子さんには、お知らせを配布致しました。早めに受診をしていただき、受診報告書の提出をお願い致します。